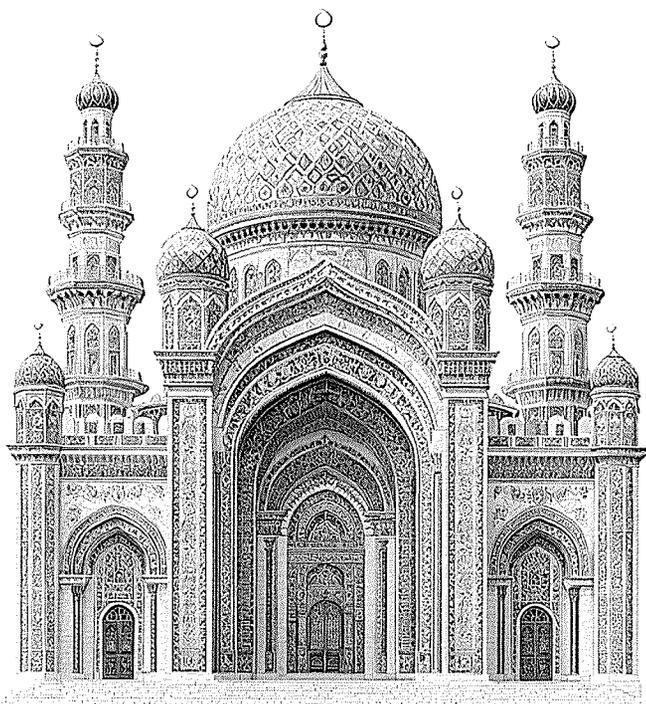


論文

私のイスラーム観

徳増 公明



（6）ハッジ（巡礼）

ムスリムのマッカ（メッカ）へのハッジの時期にサウディアラビアを訪問すると、どこの空港にもどの飛行機にも2枚の白い布で身体を被った大勢の巡礼者の姿が見られる。

ことしも4月16日からハッジの行事が始まり、世界各国から焼く200万人のムスリムが聖地マッカにやってきた。ハッジ行事開始の前日（15日）、マッカのまちから約11km離れたミナーの谷で大発火が発生し、7万帳に及ぶ巡礼者たちのテントが焼失し、300数十人の死者、1200人以上の負傷者が出た。しかしながら、今年もハッジ期間中は巡礼者の厚い信仰心が高揚し、マッカの町は熱気で満ちあふれた。

ハッジの主な儀式は、ズー・ル・ヒッジヤ月（イスラーム暦第12月）8日にマッカのカアバ神殿を7週まわり（タワーフ）、サファーとマルワの丘の間を7回歩き（サアイ）、次の日（9日）アラファートの丘に立ち祈り、翌日（10日）にミナーの谷で悪魔の象徴となっている3つの石柱に投石し、羊などを犠牲に捧げることである。その後2～3日マッカに留まり約400km離れたマディーナ（メディナ）へ行き預言者のマスジド（モスク）を訪ねる巡礼者が多い。

巡礼者たちはハッジに参加して、現世のすべての欲望を絶ちアッラーの前ではすべての人間は平等であることを再認識する。

そして、ハッジの行事を完了した巡礼者は、より信仰を深めた、イスラームの基本理念を体得したムスリムとして、自国に帰ると人々からハージ（ハッジをした人の意で女性はハージャと呼ばれ尊敬される）。

ハッジとはどんな行事であるか、学派の間には多少の異なった見解はあ

（6）ハッジ（巡礼）

ムスリムのマッカ（メッカ）へのハッジの時期にサウディアラビアを訪問すると、どこの空港にもどの飛行機にも2枚の白い布で身体を被った大勢の巡礼者の姿が見られる。

ことしも4月16日からハッジの行事が始まり、世界各国から焼く200万人のムスリムが聖地マッカにやってきた。ハッジ行事開始の前日（15日）、マッカのまちから約11km離れたミナーの谷で大火事が発生し、7万帳に及ぶ巡礼者たちのテントが焼失し、300数十人の死者、1200人以上の負傷者が出た。しかしながら、今年もハッジ期間中は巡礼者の厚い信仰心が高揚し、マッカの町は熱気で満ちあふれた。

ハッジの主な儀式は、ズー・ル・ヒッジヤ月（イスラーム暦第12月）8日にマッカのカアバ神殿を7週まわり（タワーフ）、サファーとマルワの丘の間を7回歩き（サアイ）、次の日（9日）アラファートの丘に立ち祈り、翌日（10日）にミナーの谷で悪魔の象徴となっている3つの石柱に投石し、羊などを犠牲に捧げることである。その後2～3日マッカに留まり約400km離れたマディーナ（メディナ）へ行き預言者のマスジド（モスク）を訪ねる巡礼者が多い。

巡礼者たちはハッジに参加して、現世のすべての欲望を絶ちアッラーの前ではすべての人間は平等であることを再認識する。

そして、ハッジの行事を完了した巡礼者は、より信仰を深めた、イスラームの基本理念を体得したムスリムとして、自国に帰ると人々からハージ（ハッジをした人の意で女性はハージャと呼ばれ尊敬される。

ハッジとはどんな行事であるか、学派の間には多少の異なった見解はあ

るもののフィクヒの観点からのべてみたい。

ハッジとは？

言語学的には偉大なものに向かっていくことである。法学的には特定の時期に、特定の場所で行う特別な行為である。

ハッジの法規範は？

すべてのムスリムにとって条件が満たされたならば実行しなければならない義務行為（ワージブ）であるが、一部のムスリムたちがハッジを遂行することにより、残りすべてのムスリム達はハッジをする義務から免除される。

その法的根拠は？

((アッラーのためにハッジとオムラ（小巡礼）を全うしなさい))（クルアーン第2章19節）。

((この家へのハッジはそこに赴ける人々に課せられたアッラーへの義務である))（クルアーン第3章97節）。

ハッジをするための必要条件は？

- 1 - 成人に達している。預言者は言った”未成年者がたとえ10回ハッジをしても無効で、成人になったとき、ハッジをする義務が生じる。
- 2 - ムスリムである。
- 3 - 正常な精神者である。
- 4 - 特定の時期に行う。

ハッジ行事を成立させる基本となるものは？

- 1 - これからハッジを行うという意思表示をする。
- 2 - アラファートの地に立つ。
- 3 - サファーとマルワの2つの丘の間を歩く。
- 4 - カアバ神殿を回る (タワーフ)。

イハラームとは、ミーカートとは？

巡礼者は特定な場所でこれからハッジを行うと意思表示をし、巡礼衣に着替えなければならない。そのことをイハラームという。そして、その特定な場所のことをミーカートという。

ミーカートの場所は？

巡礼者のやってくる方向により次のように異なる。

- 1 - ラービグ町近くのジュフハ：シリア、エジプト、北アフリカ方面。
- 2 - ザート・アラク：イラク、イラン、東部方面。
- 3 - ズ・ル・ハリーフア：マディーナ方面。
- 4 - カルヌ・ル・アナーズィル：リヤード方面。
- 5 - ヤラムラム：イエメン、インド、東南アジア方面。

巡礼者がもしミーカートを越えてイハラームをした場合はミーカートまでもどりイハラームをやり直すか羊などを犠牲に捧げなければならない。

イハラームをする時に行わなければならないことは？

- 1 - 全身沐浴か身の清め (ウドーウ)
- 2 - 手足の爪を切る。

- 3 - 頭髪、髭、脇毛、陰毛を切ったり剃ったりする。
- 4 - 巡礼衣は男性の場合、2枚の白布であり、一枚は上半身をもう一枚は下半身を被い女性は特別なものはないが、清潔で足首まで届く長いものを着る。
- 5 - 礼拝を2ラカアトする。
- 6 - “ラッバイカ アッラーフンマ ラッバイカ・・・”という巡礼時のみ使うアッラーへの称賛句を唱える。

イハラームをした後の禁止行為は？

- 1 - 結婚契約（ハナフィー派は可能）。
- 2 - 性行為。
- 3 - 非道徳な言葉や口論。
- 4 - 狩猟による陸上の動物の殺生や屠殺。
- 5 - 香水（料）を衣服や身体につける。
- 6 - 爪を切る。
- 7 - 縫い目の入った衣服を身に着ける。（男性）
- 8 - 頭を帽子や布で被う。（男性）
- 9 - 靴類を履く。
- 10 - 頭髪やそれ以外の体毛を切ったり剃ったり脱毛したりする。
- 11 - 美容・健康のため手足に「ヘンナ（染料の一種）をぬる。
- 12 - 聖地にある木や枝を切ったり折ったりする。

巡礼者が聖地マッカに入るとき、要求される行為は？

- 1 - 全身沐浴をする。

- 2 - マアリー (地名) の方向からカアバ神殿の方を向いてマッカに日中入る。
- 3 - マッカのハラム・モスクには大きな声でアッラーフアクバル (神は偉大である) といいながら、バーブ・サラーム (平和の門) から謙虚で落ち着いた態度で入る。
- 4 - マスジド (モスク) に入ったら自分の願い事をアッラーに請う。
- 5 - それからカアバ神殿の周りを7回まわる。(タワーフ・ル・クドームといい、到着のタワーフの意)
- 6 - そして、2ラカアトのサラートをを行う。

タワーフにはどんな種類があるか？

次の4種類がある。

- 1 - 基本のタワーフ：ワージブ (義務行為)
- 2 - 到着のタワーフ：スンナ (奨励される行為)
- 3 - 別れのタワーフ：ワージブ (マーリキー派はスンナ)
- 4 - 随意のタワーフ：上記3つに入らないタワーフ

タワーフのやり方は？

タワーフは黒石のところから始まり、その黒石に口付けするか、触れる。大勢の巡礼者で混んでいてそれができない場合は、黒石の方向に向いて両手を上げる。そしてカアバ神殿の周りを7周回るが男性は最初の3周を早急に歩き、後の4周は普通の速さで歩く (スンナ)。女性は7周とも普通の速さで良い。

サファーとマルワ間のサイイのやり方は？

巡礼者はまずサファーの丘から約400m離れたマルワの丘に向かって歩く。つぎにマルワからサファーに向かって歩く。このようにして2つの丘の間を7回歩きマルワで終了する。その間徒歩は継続したものでなければならないし、サファーからマルワへ行くとき、一定の区間は小走りで進まなければならない。また、マルワとサファーの丘に到着する度に、アッラーにお願い事を祈る。

アラファートの地にいつどのようにして立つのか？

巡礼者は徒歩か乗り物でアラファートの地に赴く。アラファート地に立つときは、ズー・ル・ヒジャ月9日の昼過ぎから次の日（10日）の夜明け前（ファジール）までである。

そして、9日の昼間アラファートに来た人は、その日の日没までアラファートにいななければならない。それを守らなかった人は羊等を犠牲としてささげる。また、立つ場所についてはアラファートの地にあるラハマ山かその近くが良いとされる。巡礼者は声を出してできるだけ多くアッラーを称え（ジクル）、願い事や懺悔をする。

上記の時間にアラファートの地に立てなかった巡礼者はハッジ行為が無効となり、次年度からのハッジでやり直さなければならない。

ハッジ行事に必要なワージブ（義務行為）とその順番？

次の7つである。

- 1 - ミーカートでイハラームをし、その後イハラームの状態を継続する。
- 2 - 昼間アラファートに着いた場合、日没までアラファートに存在する。

- 3 - ムズダリファで夜を過ごす。
- 4 - ミナーでイード・ル・アドハー（犠牲祭）の3日間の夜を過ごす。
- 5 - 悪魔の3石柱に順番に4個の石を投げつける。
- 6 - 頭髪を剃るか切る。
- 7 - 別れのタワーフをする

死者や病人、または虚弱体質でハッジをすることができない人に代わってハッジをすることができるのか？

死者の場合、他の人が代わりにハッジすることができる。その人は死者の相続人でも非相続人でもよく、ハッジの費用はその人が負担してもよいし、死者の遺産からだしてもよい。

ただし、その人はかつて自分自身のハッジを済ませていなければならない。できれば死者と同じ土地の人で、信仰に篤い人がよい。一方、病気や虚弱体質でハッジができない人に代わってもハッジをすることができる。

ハディース：イブン・アッバースが言った。“ある婦人が預言者のところへやってきて言った。「預言者よ。私の父は高齢でラクダに乗ることもできず、ハッジの義務を果たすことができません。私が代わってもよいですか」すると預言者は言った。よろしい」

もし巡礼者がハッジの行事を完成せずに死亡した場合、ハッジは無効になるのか？ 遺体は？

もし巡礼者が順調にすすめていたハッジの行事を終える前に死亡した場合、ハッジを行ったこととなり、沐浴され、イハラームの布で包まれ、葬儀のサラートをを行い埋葬される。その際遺体は顔を布で包まず、香水をか

けない。

ハッジの行事の一つに動物を犠牲に捧げる行事がある。その日はイード・ル・アドハー（犠牲祭）と呼ばれる犠牲祭初日のイスラーム暦12月10日でハッジに参加した人のみならず世界中のムスリムも羊などを犠牲に捧げる。この犠牲をする行事の起因は預言者イブラーヒームとその息子イスマーイールの故事による。

かつて、アッラーがイブラーヒームの信仰の深さを試すために彼に息子のイスマーイールを犠牲に捧げることを命じた。イブラーヒームがその命令を実行しようとした時、アッラーからそれを中止し、代わりに動物を犠牲にせよとの命が下ったと言う。アッラーの命令であるならば、たとえ自分の息子でも犠牲に捧げると言うアッラーへの絶対的服従、つまりイブラーヒームの深い信仰を見習いムスリムたちはこの日にぎせいを捧げるようになったと言う。

イスラームではこの犠牲に関連した、ザバハ（屠殺）についていろいろな規定がある。ムスリムは自分たちが食べられる肉のことをハラール・ミートと言うが、そのためには特別なザバハの方法を必要としている。では犠牲とハラール・ミートについて述べる。

イスラームの犠牲とは。それはいつから始まったか？

犠牲は犠牲祭の日々（イスラーム暦12月10日～12日）にアッラーへの深い信仰の証として家畜を犠牲に捧げることを意味する。また犠牲を捧げることにより、アッラーからの数々の恩恵、人類生存への配慮に対し、アッラーへ感謝することも意味している。この犠牲が始まったのはイスラーム暦2年（623年）である。

クルアーン ((さあ、あなたの主に礼拝し、犠牲を捧げなさい)) (108章2節)

クルアーン ((また犠牲のラクダや牛を、われはあなた方のためアッラーの儀式用とした)) (22章36節)。

ハディース“アナスが言った「預言者は角のあるりっぱな雄羊を自らの手で屠殺し、2頭を犠牲に捧げた」(ムスリム伝)

法的規範はスンナ(推奨行為)であり、その中でもできる人がやらないのは良くない行為(スンナ・ムアッカド)としている。ハナフィー派はワジブ(義務行為)としている。

犠牲の条件は？

- 1 - 犠牲を捧げる人はムスリム、成人、健全な精神者であり、犠牲を捧げることができる経済的に余裕のある人。
- 2 - 犠牲となる動物は、失明、病気、びっこ、やせ衰えているなど身体的欠陥がないこと。これらは肉そのものや人体に悪影響を与える可能性があるからである。
- 3 - 犠牲のザバハを行う時は犠牲祭初日のイードの礼拝後から犠牲祭の3日目が終わるまでの間、夜でもよいが、夜はザバハをする上で間違いを起こしやすいので昼間の方がよりよいとされている。マーリキ派では昼のみで夜はしてはいけないとされている。
- 4 - 羊を犠牲に捧げる場合は一家族に一頭で十分である。二家族になるともう一頭必要となる。ラクダと牛については、一頭で七家族分である。ただし、犠牲に捧げることができるのはラクダについては6歳以上、牛については3歳以上(マーリキー派は4歳以上)、山羊は2歳以上

(シャーフィイー派は3歳以上)としている。またこれらの家畜の子供については別の意見がある。

犠牲に捧げる最適な家畜は？

学派によって次のように異なる。

- 1 - マーリキー派：肉のおいしさから羊、山羊、牛、ラクダの順。その中でも雌よりも雄、黒色より白色のものが良いとされる。
- 2 - シャーフィイー派とハンバリー派：多くの貧者への配布を重視し、肉の多さからラクダ、牛、羊、山羊の順（羊と山羊についてはおいしさの順）。しかし、共同で犠牲に捧げた牛やラクダの一頭分はそれに相当する七頭の羊に劣る。羊の方がおいしいからである。
- 3 - ハナフィー派：家畜の種類に関係なく肉の多い順。

ザバハの意味は？

言語上は切断、裂くこと、動物をころすことを意味する。法的には、動物の体内の血液を全部取り除くことである。血液の中には細菌や最近が潜んでいるので、それを含んだ肉を食べることは健康上よくない。血液をとりのぞくことのより肉を清潔にし、人体への悪影響を防ぐことになる。

ザバハのやり方は？

首を通る頸静・動脈（2本）や気管や食道をナイフ等で切断する。その際できるだけ首をすべて切り取らないようにする。

切断する場所について学派によって次のように意見が異なる。

- 1－ハナフィー派：頸静・動脈（2本）、気管、食道のうちいずれか3カ所を切断する。ハディース“あなた方の望む通り、数ヶ所（3カ所以上）切断しなさい。”
- 2－マーリキー派：食道を除き頸静・動脈（2本）と気管を切断する。流血を取り除くには頸静・動脈を切断することであり、頸静・動脈を切れば当然そのすぐ近くにある気管を切断することになる。
- 3－シャーフイー派とハンバリー派：気管と食道を切断する。この2ヶ所を切ることにより死に至るからである。また家畜に苦しみを与えないためにできるだけ頸静・動脈（2本）も切断した方がよいとしている。ハディースによると羊のザバハについて次のように述べている。

「預言者は羊を横たえた。そうすればザバハをする人が右手でナイフを持ち、左手で動物の頭をつかみ、右足を自由にさせ、暴れるかもしれない他の足を全部押さえることが容易になるからだ。」

ザバハする人の条件は？

- 1－啓典の民、すなわちムスリム、キリスト教徒、ユダヤ教徒に限られる。クルアーン（（啓典を授けられた民の食べ物あなた方に合法であり、あなた方の食べ物は彼らに合法である））（5章5節）
- 2－ザバハをすることができる能力がある。

ザバハの行為が有効であるためのその他の条件は？

- 1－ザバハをする直前、動物は自分で目・声・動作をコントロールできる状態にある。
- 2－ザバハをするとき「アッラーの御名において、アッラーは偉大である

(タスマヤ)」と言う。これは推奨行為であるがハナフィー派では義務行為となっている。

3-キリスト教徒とユダヤ教徒には、タスマヤが要求されないが、行った方がよい。また、ムスリムがいる場所で聞こえるように自分たちの神の名前を使ってザバハしたとき、その肉は食べられない。ユダヤ教徒には、あひるやがちょうやラクダなど爪を持つ動物を食べることが禁じられているが、彼らがそれをザバハした場合も、その肉は食べられない。

ザバハをするのに使用される道具は？

切れるものならばどんな種類のナイフでもどんな鋭利なものでもよい。ただし爪と歯と骨を使用することは禁止されている。

また、切れないナイフや銃、皮のむち、矢など刃のない道具も禁止されている。

ナイフはどんなものでもよいか？

先が鋭くよく切れるのが良い（推奨行為）。

「アッラーはすべてに優しくするように命じた。もしあなた方が（生き物を）殺すときはできるだけ苦しめないようにナイフの先を鋭くして切れるようにしなさい」（ムスリム伝）。

ハラール・ミートにならない肉、食べることが禁止されている肉は？

クルラーンに次のように記述されている。

((あなた方にきんじられたものは、死肉、流血、豚肉、アッラー以外の名を唱えて殺されたもの、絞め殺されたもの、ただしこの種のものでもあなた方がその止めを刺したものは別である)) (5章3節)。

(7) 結婚

イスラームは家庭を社会の基本とし、各家庭の安泰がその社会の安泰、平和に繋がるものとしている。したがって、家庭を築く源となる結婚は極めて重要な意味を持つてくる。もちろん、イスラームでも結婚は人類存続という大きな役割を担っていることは言うまでもない。結婚についてイスラームでは結婚契約から結婚生活のあり方まで、細部にわたってシャリーア（イスラーム法）で規定している。結婚する男女はこの規定にそって契約の手続きを済ませ、結婚生活に入っていく。イスラームの結婚について学派によって多少の意見の相違はあるが、一般論を述べることとする。

イスラームにおける結婚とは？

言語上は連結を意味し、法的には男性が女性の独占権を有する契約を意味する。

結婚成立の基本は？

イージャーブ（申し込み）とクブール（承認）で、この二つがなければ結婚は成立しない。

申し込みと承認のやり方は？

申し込みでは結婚する女性の後見人が結婚する相手の男性に“私は・・・さんを、あなたと結婚させる”と言い、承諾では結婚する男性がこれに対して“それを承諾した”と言う。ただし、この申し込みと承諾は後見人と男性が直接会って行わなければならない。

結婚契約の条件は？

- 1 - 契約時、公平なふたりの男性が証人として立ち会わなければならない。
- 2 - 申し込みと承諾の言葉はどんな言語でも良いが、契約の当事者間で、はっきりと聞こえるものでなければならない。
- 3 - 結婚は一時的なものであってはならず、男性が“あなたの娘さんと一ヶ月だけ結婚させて下さい”というのは無効である。
- 4 - 結婚する女性はイスラーム法で結婚を許された女性でなければならない。具体的にはクルアーン第4章23節に述べられている次の女性たちとは結婚できない。

主流グループ（アスリーヤ）と支流グループ（ファライーヤ）に分かれ、主流グループには結婚する男性の1、母親、祖母、曾祖母 2、娘、孫娘、曾孫娘 3、姉妹 4、父方のおば 5、母方のおば 6、兄弟の娘とその娘 7、姉妹の娘とその娘、が含まれる。また支流グループには男性の1、乳母 2、乳母の姉妹 3、妻の母 4、前夫との間の生まれた妻の娘（ただし妻と関係した時） 5、自分の息子の妻 6、同時に結婚する二人姉妹、が含まれる。

後見人の条件は？

男性、成人、能力者、公平な判断者、強制されずに後見人になった人。

女性は後見人なしでは自ら契約できないのか？

ハナフィー派では二人の証人がいれば自ら契約できるが、その他の学派では後見人を必要としている。

法的な後見人になれる人は？

結婚する女性の父親、次に祖父というように遺産相続者として彼女に一番近い血縁者の順。ただし、父親や親戚がいない場合は、女性が信頼できる他の人に後見人の代わりに頼むことが出来る。

結婚はムスリム（男性）とムスリマ（女性）同士でなければならないのか。

男性はムスリム、女性はムスリマかキリスト教徒かユダヤ教徒でなければならない。

マハル（結納）は結婚契約時の条件か？

結納なしでも契約は成立するが契約書に結納品、結納金を記した方がよい（奨励行為）。ただし、初夜を迎えたら夫は妻に結納を与えなければならない（義務行為）。だが、妻がそれを許した場合は与えなくてもよい。

結納金の最低額は？

10デルハムという意見と、有益な品物ならどんなものでもよいという

意見がある。ハディース「たとえ鉄の指輪でもよいから、結納として要求しなさい」。

結婚後、別れた場合、子供はどちらがひきとる権利があるか？

男性が子供をひきとる権利を持ち、もし男性がイスラームを逃れ女性がムスリマになった場合は、女性はその権利を持つ。

父親は娘の同意なしで特定の男性と結婚させることができるのか？

成人前の年少者の場合は可能であるが、成人に達した場合は娘の同意が必要で、まず娘に相談し彼女の同意を得なければならない。つまり娘の意志を尊重し、強制してはならない。

結婚する男女の対等性は？

男女の釣り合いの同等性を強く勧めている。

ハディース「後見人なしで結婚させてはならない。その娘に相応しくない男性と結婚させてもならない」。

結婚後いかに妻と仲良く生活していくか？

夫は妻に対し優しく、愛情をもって接し、無理なことを要求せず、女中や使用人のように扱わず、喜びを与え、イスラームに反しない限り怒らず、分からないことは優しく教え、打ったりせず、妻の両親の悪口を言わず、妻が嫌がる欠点を言わず、妻を安全に守り、幸せにし、常に愛情と純真さで仲良く生活するように努める。

夫に対する妻の権利は？

衣料、食物を支給される、暴力・暴言・悪口を受けないなどの権利がある。

ハディース「もし食物をたべたら妻にも与え、もし衣服を着たら衣服を与えなさい。妻の顔を打たず、悪口を言わず、外では妻に大声で話しかけてはならない」。

妻が不誠実な性格で、夫を傷つけることを言い、夫に不従順でほとんど夫の言うことを聞かない場合、夫はどのように妻に対応すべきか。夫は妻に賢く対応し、妻に悪口を言ったり、冷たく当たらず優しく指導する。

ハディース「アッラーと最後の審判を信ずる者は隣人を傷つけることを言わず女性にする。彼女たちは肋骨から造られた。肋骨は上部ほど曲がっている。もし急に真っ直ぐに伸ばそうとすれば折れてしまう。もし放っておけば曲がったままだ。女性には優しく対応しなさい」。

夫や妻が夫婦間の秘密を漏らすことは？

夫婦生活など、秘密にすべきことを他人にもらすことは兩人に禁止されている。

ハディース「夫が妻と秘密にしていたことを、また妻が夫と秘密にしていたことを他人に漏らすことは、最後の審判の日にアッラーのもとで最も悪い行為の一つとされる」。

二人以上の妻がいる場合、夫はどのように妻たちに対応すべきか？

どの妻にも公平に対応しなければならない。

クルアーン（あなたがたがもし孤児の女たちに対し、公正にしてやれ

るならば、あなたがたがよいと思う2人、3人または4人の女を娶れ。だが公平にしてやれそうもないならば、只1人だけにせよ)) (クルアーン4章3節)。

それぞれの妻との宿泊日数は平等(同日数)でなければならない。飲食物、衣服等の生活費の分配はまったく平等にする必要はないが、ひとりひとりの妻に相応しい十分な生活費を与えなければならない。そして、その後、妻たちの中で争いが起きない程度に特定の妻に余計に与えることも出来る。人間は感情をコントロールできないことから、妻たちに愛情を平等に与えることができないことは許される。

(8) 離婚

ハディースで“この世の最も忌まわしきものは離婚である”と記述されている。それほど離婚を戒めているが、イスラーム社会でも離婚する人は多い。手続き上ではイスラームの結婚は契約であるから離婚はその解消ということになり、きわめて明解である。だが夫と妻の気質と立場を十分に配慮した離婚の法的処置が取られている。

イスラームでの離婚とは？

夫婦間で結ばれていた結婚契約を特別な言葉を宣言して破棄すること。

夫の離婚宣言の方法は？

次の二つがある。

1 - 離婚という言葉を直接用いる場合：

例えば、私は貴女と離婚した貴女は離婚させられた。私は貴女と離婚せざるをえない”等。

2 - 離婚という言葉を用いず、別な言葉で表現する場合：

例えば、貴女は私との結婚を禁止されている人のひとりである。貴女はすでに私の保護下でない貴女はもう自由な身である” “その戸は開かれている”等。

離婚の一般的形態は？

夫が妻に一方的に宣言するラジャイー離婚とバーイン離婚がある。

1 - ラジャイー離婚：

直接的な離婚の意志を持たない宣言。一回目、二回目までの宣言の後では、もし夫が妻とよりを戻したい場合は”私は私の保護下に妻を戻した“と云えば戻すことができる。クルアーン ((離婚の宣言は二度まで許される)) (2章229節)。しかし、三回目の宣言は次のバーイン離婚となってしまう結婚は完全に解消されてしまう。このようにバーイン離婚を宣言した後、もう一度その女性とよりを戻したい時は彼女が他の男性と結婚し、離婚した後でなければならず、その上結婚契約と結納を再びしなければならない。((もし彼が三度目の離婚を宣言したならば、彼女が他の男性と結婚するまで再婚できない。そして第2の夫が彼女を離婚した後ならば両人は罪にならない)) (クルアーン2章230節)。

2 - バーイン離婚：

結婚後、夫婦間に性行為がなかった場合や、離婚宣言後夫婦の絆がないまま再婚待機期間 (イッダ) を過ごしてしまった場合に、明確で直

接的な離婚の意志を示す離婚宣言をしたときの離婚。このようにしてバーイン離婚を宣言した場合で、もう一度よりを戻したいときはその女性と新たに結婚契約をして結納を与えるだけでよい。

その他の離婚の形態は？

- 1 - 夫か妻が死亡した場合（契約の当事者の一方が不在になるからである）。
- 2 - 妻のほうから離婚を要求する場合。
- 3 - 両者が同時に離婚の意志を表明する場合。

イッダとは？

夫が妻に一回目、二回目の離婚宣言した後、それを取り消すことができる期間のことである。また3回目の離婚宣言の後、妻の再婚待機期間でもある。

イッダはそれぞれの離婚宣言の後からはじまる。

イッダの期間は？

離婚宣言をされた女性のイッダの期間については次の通り。

- 1 - 一般的には3回目の月経が有るまでの期間。
（（離婚された女性は独身のまま3度の月経を待たねばならない）（クルアーン2章228節））。
- 2 - 年少や年長で生理がない女性の場合は3ヶ月間。
- 3 - 妊娠している女性は出産時までの期間。イッダ期間中に、妻は他の男性との結婚は許されない。

夫が死亡した場合にイッダは？

喪に服する期間として4ヶ月10日である。結婚後性行為がなかった場合も同期間である。妊娠している場合は出産時とされる。出産が4ヶ月10日以前の場合は4ヶ月10日とする意見もある。

夫が病で死期が近い時、バーイン離婚を宣言し、妻がイッダ中に夫が死亡した場合、妻は夫の遺産を相続できるか？

シャーフィイー派を除き相続できる。

イッダの意義は？

夫婦間の不和や争いなどがもとで感情的に走りすぐに離婚に発展しないよう、両者に十分な反省の期間と復縁の機会を与えた。また、別れた妻の妊娠の有無を確認することにより彼女が再婚する際、子孫の血縁関係に混乱を起こさないようにするためでもある。

ズィハールの離婚とは？

昔からアラビア地方でひろまっていた悪習のひとつで、“貴女は私にとって私の母の背中のような”とか“私の妹の腹のような”と夫が妻に対し、妻や妻の身体の一部を夫が結婚を許されていない人になぞらえる宣言をすることによって離婚すること。

ズィハール離婚の法規範は？

ハラーム（禁止行為）であり、ズィハール宣言をした後、妻とよりを戻したい時は次の順序でどれかひとつを実行し償いをしなければならない。

- 1 - 奴隸を一人解放する。
- 2 - 二ヶ月間の齋戒（断食）をする。
- 3 - 60人の貧者に食を与える。（クルアーン58章3～4節）。

イーラーウによる離婚とは。またその法規範は？

（夫が妻に対し4ヶ月以上も近つかない（触れない）ことを宣言することをイーラーウといい、もし4ヶ月以内に近づくことがなければ離婚となってしまう。妻と縁を絶つことを誓う者は、4ヶ月間待たねばならない。もし離婚の意志をひるがえすならば、誠にアッラーは寛容にして慈悲深くあられる。また、かれらが、もし離婚を固く決心したならば、誠にアッラーは全聴にして全知であられる）（クルアーン第2章226～227節）。

イーラーウを4ヶ月に決めた理由は？

イスラーム以前には夫が妻に対して”向こう一年間（またはそれ以上）床を同じくしない“と宣言し、長期にわたり妻の人間性を無視し、妻でも離婚者でもないような悲痛な立場に置いたことがあった。そこで啓示が下りアッラーは夫妻に夫婦生活を再考するのに耐えられるぎりぎりの期間として4ヶ月を与えた。このような状態が4ヶ月も続いてそれでも両者に反省がない場合は、離婚は容易である。もし反省があったら、後悔してよりを戻すことができる。結婚生活を継続させるために必要な再考の期間と言えるだろう。